

地域の皆様と川島ロイヤル・ワム・タウンを結ぶ広報誌

ふれ愛

NO.
105
2021.4月号

<https://www.loyal-wam-town.jp/>

Contents

「コグニサイズ」始めました —認知症予防の取り組み—

介護老人保健施設・平成の森

紀元節イベントを開催しました

介護老人保健施設・平成の森

オレンジカフェが開店します

介護老人保健施設・平成の森

ひな祭りのイベントを開催しました

介護老人保健施設・平成の森

節分:豆まき会を行いました

ロイヤルケアホーム川島

ひな祭り行事食を提供しました

平成の森・川島病院

新しい職員が加わりました

平成の森・川島病院

川島町「さくら通り」



左から山口さん、村岡さん、高田さん

2月より、平成の森・川島病院の医事課へ入職いたしました。前職でもクリニックで医療事務として勤務して参りましたが、病棟を受け持つ経験は初めてのため、毎日が日々勉強です。当初は、新しい環境に飛び込むことへの不安もありましたが、先輩方が優しく丁寧に指導して下さり、今は少しでも早く仕事を覚えて、この病院のスタッフとして患者様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

医事課 山口 明子

2021年1月より総務課に入職しました村岡友恵と申します。私は10歳まで川島町がある比企郡に住んでおりましたが、約20年ぶりに地元へ帰って参りました。幼い頃に親しんだ地域で働けることを、とても嬉しく思います。これまでの営業事務・管理事務の経験を活かして、地元の方々へ貢献できるよう精進して参ります。まだまだ未熟ですが、今後ともよろしくお願致します。

総務課 村岡 友恵

日本一の米どころ、新潟県より引越してきました熊谷出身の高田芙美子です。新潟に7年も住んでいたにも関わらず佐渡に旅行に行きそびれてしまったのが心残りです。コロナが落ち着いたら行ってきます!趣味は犬の散歩とランニングです。今は腰痛がありウォーキングが中心ですが来年こそは熊谷さくらマラソンに参加できるように今から調整中です。仕事は患者さんファーストでがんばりますので皆さんよろしくお願いたします。

リハビリテーション部 高田 芙美子

ひな祭りのイベントを開催しました

介護老人保健施設・平成の森

2月4日～3月4日間、通所リハビリのスペースにお雛様を飾りました。雛飾りの由来は中国の上巳(じょうし)の節句と平安時代の貴族が行っていた遊びの要素が合わさって生まれた風習だそうです。

今回は3つの雛段を1ヶ所に飾ったのでより華やかに見えました。利用者の皆様からは「豪華だね」「懐かしい」「あそこの飾り方が違うんじゃない」といった言葉を聞くことが出来ました。通所の皆様は雛段を見ながらリハビリをした

り、療養棟の方は見学と記念写真を撮ったりといった形で桃の節句を迎えました。また女性だけでなく、意外にも男性の利用者の方からも好評の声が聞かれました。今年度のイベントはこれで最後になりますが、来年度も季節感を感じて頂きながら充実した日々が送れるイベントを開催していきたいと思

います。

コスモス通り 細谷 剛



老健平成の森にて、オレンジカフェが開店します

介護老人保健施設・平成の森

当施設1階、通所リハビリデイルームにてオレンジカフェ(認知症カフェ)が開店します。

オレンジカフェとは、認知症の方やご家族、地域の方や専門職の方などが、参加・交流できる“集いの場”です。認知症の人を支えるご家族の介護負担の軽減を図り、地域への認知症に対する正しい理解と適切な対応を周知することで、認知症の人を支えるつながりをつくることを目的としています。自分たちの思いや体験などを語り、また相談できるような関係作りの場の提供や、高齢者や認知症に関する講演会などを盛り込みながら、集う場の提供をしてきたいと考えて

おります。ゆったりお話をしたり、情報交換しませんか。

開店日時: 令和3年5月9日(日曜日)
初回プログラムは「認知症スケール」と「いきいき太極拳」です。以後毎月第2日曜日(変更になる場合もあります)
午後1時30分～2時30分まで
場 所: 介護老人保健施設平成の森 1F 通所リハビリデイルーム
参 加 費: 100 円

事務課 岡田 健二郎



3月3日にひな祭りの行事食を提供しました。ちらし寿司は彩も春らしく盛り付けもきれいで、患者様にも「きれい」「華やかで春を感じるね」とのお声を頂くことができました。行事食では、ペースト食等で普段見た目の違いを感じ

にくい食形態の方にも、見た目でも楽しんで頂けるよう、工夫して提供しています。今後も安全かつ喜んで頂ける食事提供に努めていきたいです。

栄養課

紀元節イベントを開催しました

「紀元節」という言葉をご存知でしょうか。

「紀元節」は、終戦まで実際にあった祝日で、2月11日の「建国記念の日」がこれにあたります。戦前の学校では1年のうちで大切な行事のひとつでした。祝日でありましたが、正装して学校に登校し式典を行う。国歌や紀元節の歌を斉唱し、校長先生が教育勅語を読みあげる。そして箱入りの紅白饅頭を持ち帰る、一大イベントでありました。昭和20年に廃止されたので、それ以降に学校に入学された方は経験されていないと思います。

そこで、去る2月11日、紀元節の式典を再現することにチャレンジしました。紀元節の歌の歌詞を紹介し、そして(僭越ながら)教育勅語を読みあげさせていただきました。通所リハビリをご利用されている方の約6割は紀元節を経験されており、紀元節の歌の歌詞を紹介した時は、口ずさんで歌われて、当時を懐かしむ姿もみられました。また、皆様の話を伺いながら、地域や時代時代によって行事の行い方の違いや、他の四大節の祝い方の話題、紅白饅頭に関しては、箱入りか否か、大きさ、蒸かしたものか、餅饅頭なのかなど、利用者様同士の交流もあり有意義な時間を過ごされました。

そして、当時の子供たちにとっての一番の楽しみであったという「紅白饅頭」を、通所リハビリ恒例の「郷土食イベント」として製作しました。今回製作する「饅頭」は埼玉県の郷土料理ということでお手伝いの利用者様の方も気合が入っていたようです。午前中にあんこを丸めているのを見ていた、時短で12時に帰る利用者様の方は完成前に帰られるので、寂しげにあんこを見つめながら帰られ、残念な思いをさせてしまいました。

午後のお茶の時間に蒸かした紅白饅頭を食べられ、見栄えも味も満足のいくものであったようで、満面の笑みで饅頭を頬張る姿がとても印象的でした。子供時代も、持ち帰った



紅白饅頭を家族皆で「笑顔で」食べていたという話を聞き、「やはりいつの時代も甘いものを食べているときは、幸せな笑みがこぼれるものだ」と笑いながら過ごせたイベントになりました。

後日、紀元節の歌を思い出せたこと、饅頭がおいしかったこと、家族との会話に紀元節の話ができたことなど、たくさんのうれしい感想をいただきました。中には教育勅語そのものを持ってきてくれた方までおられました。

イベントを通して、時代背景や当時の出来事、考え方や風習、想いなどが私たちが知り得ないことを、この場で感じる事ができたのは貴重な体験で、かけがえのないものだと思います。利用者様の笑顔を見たり、家族との交流があったなどと聞く事ができると、改めて「やってよかった」と心から思えるイベントになりました。

通所リハビリテーション 吉田 将輝

「コグニサイズ」始めました — 認知症予防の取り組み — 介護老人保健施設・平成の森

日本では、2025年に65歳以上の4人に1人が認知症になると予想されており、今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気です。私たち通所リハビリテーションでも、運動機能だけでなく、認知機能に対する予防リハビリテーションを実施しています。その一つがコグニサイズという運動です。

コグニサイズは、国立長寿医療研究センターが認知症を予防する事を目的に開発した実績のある運動です。開始して2年がたつコグニサイズですが、すでに実施された方々では、想像していた以上に良い結果もみられています。通所リハビリテーションでは他の方との交流や、創作などもあり、これら様々な活動が脳の活性化に繋がっているのかもしれませんが。

当施設では安全に実施できるよう、座って行うタイプのコグニサイズを実施しており、より多くの方が実施して頂くこ



例: ①～④の手と足運動を同時に行います。これを軽く息が上がる速度で実施します。

とが可能となっています。今後も皆様の健康を総合的にサポートし、住み慣れた地域での生活を継続できるリハビリテーションを目指していきます。

リハビリテーション室 川畑 聡

節分:豆まき会を行いました

ロイヤルケアホーム川島

昨年一年間、全国的にコロナ禍一色と言っても過言じゃない程の大変な一年間でした。

今年に入っても依然として終息せず、夏開催予定の東京オリンピックもコロナ禍の影響が心配なところです。その中、当施設においてスタッフの協力の下に、小イベントとして 2月2日(火) 節分の日に利用者様、スタッフの感染対策



を徹底した上で豆まきを行いました。

青鬼・赤鬼が各階食堂に、高らかに「フォ～」 「コロナになった者はいないか」? と言いながら現れますと「コロナぶっとばせ」、「コロナに負けないぞ」、「鬼は外」「鬼は外」と言いながら、利用者様の手から鬼を目がけ投げつけていました。その豆は、力強い豆の嵐となり、青・赤鬼は痛さのあまり、「退散、退散」と言いながらその場を去っていきました。利用者様の顔には満ち溢れた笑みでいっぱいでした。

今後とも、コロナ感染対策等を重視し継続すべき開催イベントとして勘案していきたいです。

株式会社社会福祉総合研究所 菊池 武彦

編集後記 暖かい日も多くなってきました。

毎朝の通勤途中で梅の开花を見かけることが多くなり、暖かい日も多くなってきました。例年ですと魚釣りが趣味な私は、家族と海や川に行ったり、家族をほったらかしてひとりで魚釣りに行ったりしていました。今年は少し我慢して、ベランダで飼っているメダカや金魚の世話を楽しんでいます。この号が皆様のお手元に届くころには、春本番となり魚たちも活発に泳ぎ始めるかと思えます。産卵の時期にもなりますので今年は何匹生まれるか今から楽しみです。

リハビリテーション部 理学療法士 宮竹 里志



川島ロイヤル・ワム・タウン



平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
川島クリニック	電話 049 (297) 8783